

# マテリアルフローと環境対策投資



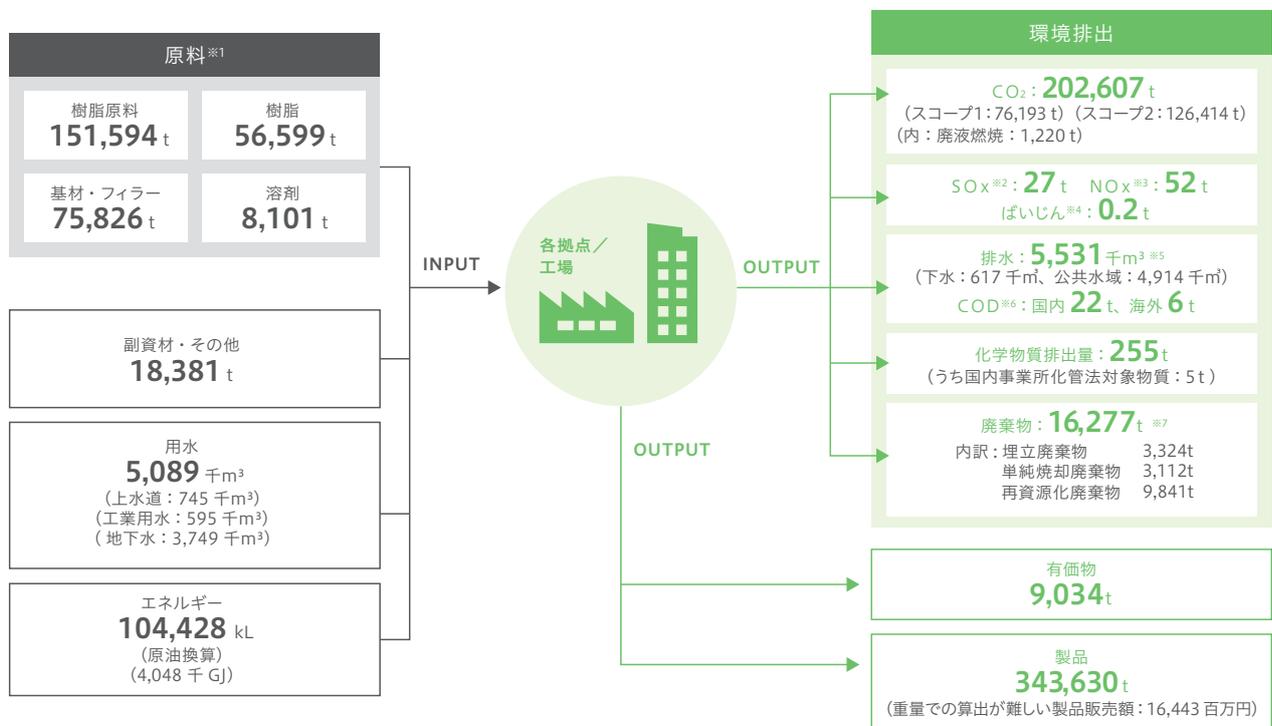
原料、エネルギー等のインプットおよび製品、環境排出物等のアウトプットを示しています。

当社グループでは、環境負荷低減のため、排出物の削減を図るとともに、省資源の見地から投入する原料、エネルギーおよび用水の節減を推進しています。また、カーボンニュートラルへの取り組みにより、CO<sub>2</sub>排出量削減を推進しています。

2020年度は、昨年に引き続き、COVID-19の感染拡大による経済活動の停滞が続き、原材料の投入量、製品の販売量等、多くの項目がさらに減少しました。

しかし、年度後半は回復への動きが見られ、2021年度は経済活動回復による増加が見込まれています。当社グループでは前述の活動により、インプットの増加に対して、環境に影響を与えるアウトプットを削減するよう取り組み、温暖化等の気候変動対策へ貢献していきます。

## ● マテリアルフロー



※1 使用原材料に占める再生可能原材料比率は現時点では約2.7%ですが、さらに再生可能原料の使用比率を高めるべく開発段階から取り組みを進めています。

※2、3、4、6 P.108用語集参照。SOx、NOx、ばいじんは排ガスの測定結果および燃料使用量等から自社で定めた計算方法により算定しています。ばいじんに関しては、海外での測定基準が異なるため、現在のところ国内データのみを集計です。CODは測定濃度と排水量から算定しています。海外のCODに関しては、排水中のCOD測定を実施している事業所を対象としました。また、測定に用いる酸化剤の種類（主に重クロム酸カリウム）が異なるため別表記としました。

※5 排水量の把握は、下水への排水は使用量の明細より算出しています。公共水域の排水は、流量計を設置している事業所はその測定値より、設置していない事業所は水使用量より、算出しています。

※7 廃棄物量中の危険廃棄物の数量は5,714tです（各国定義による）。なお危険廃棄物の数量は、保証対象ではありません。

※ 製品出荷量および製品販売額は、保証対象ではありません。

## ■ 環境対策投資

当社グループでは2000年度より国内グループ会社の環境保全にかかわる投資額を集計しています。2020年度は合計では2.4億円の投資を実施しました。

カーボンニュートラルへの対応を踏まえ、2020年度より本格的に太陽光発電の導入を開始し、2021年度以降も段階的に各事業所へ展開していきます。今後もCO<sub>2</sub>排出削減に向け、積極的な投資を検討していきます。

## ● 2020年度の環境対策投資額

| 分類               | 投資額 (百万円) |
|------------------|-----------|
| 環境への排出抑制         | 9         |
| 省エネルギー           | 234       |
| 廃棄物処理、削減・リサイクルほか | 0         |
| 合計               | 243       |

※ 集計対象期間および対象事業所は、P.3記載の国内事業所です。